

●孫のすくすく成長がうれしい

午前中、週3回シルバーで働いています。子供たちは「もう80過ぎたいんだから、辞めた方がいいよ。怪我でもしたら大変だよ」と心配してくれませんが、一日中家にいるより自分は健康のために働きます。またシルバーからは「困るから辞めないで」と言っていたら、こんな年でも必要とされていることが嬉しくて続けます。



先日、孫娘が泊まりに来てくれましたが、私は早朝からシルバーの日と重なったので、「せつかく来てくれたのにごめんね。朝食はテーブルの上にあります。気をつけて帰ってね」とメモを残して出かけました。夕方戻ると、「おばあちゃん、時々急に来て泊めさせてくれてありがとう。いつもいろいろ考えてくれてるのね。今度はゆっくり日曜日に来るからね。ご飯ご馳走するから一緒に食べよう」と孫からのメモがありました。孫の優しさが伝わり、嬉しい一日になりました。ありがとうございました。

(墨田区/T・T)

●孫と遊んでくれてありがとう

夏休みに小学校3年生になった孫が2泊3日で遊びに来てくれました。1日目はどこに行くかしらと計画を立て、会うたびに成長している孫に嬉しいやら、年とともに足を痛めている私は孫についていけないかと不安もありました。

1日目は忍者村に出かけました。山の斜面の利用したからくり屋敷に孫が入りたいと言いますが、足の悪い私に

は無理そうだし、1人で入れるのも心配だしと困っていると子供連れのお母さんが来て「良ければ一緒に私が面倒見てくださいますよ。おばあちゃんはお孫さんの年齢の子供たちで、すぐに仲良くなり話しをしていただけたいのでお願いしました。孫はおばあちゃんには足が痛いから出口で座って待っていて」と言ってくれました。



私は出口で行き1時間過ぎる時間ほど待っていると、ギャアギャア騒ぎながら出てきました。お友達になったようなので冷たいものを一緒に食べてから別れました。孫も十分に楽しんだようで「おばあちゃん、忍者村は楽しかったね」と嬉しそうに言いました。見知らぬ人なのに家族のように親切にしてくださいありがとうございます。

(群馬県/K・K)

●リオ・オリンピックに

ありがとう



リオ・オリンピックが始まり、毎日のように各国選手の活躍が放映されている。昼も夜も、スマホ、録画やオンデマンドで、いつでも繰り返し好きなだけ見られ、まるで世界中のどこにも戦争や難民問題などは起きていないような平和な一時である。

何といても内村航平選手の活躍が深く心に残る。「何としても男子体操団体金メダルを！」という長年の熱き悲願が達成でき、本人はもとより、見ている我々までも嬉しくなった。

ても覚めても体操の事はばかり考えていたという毎日、一方で、どんなにか重圧と孤独の日々でもあったことかと思う。今回は東京オリンピックが近いこともあり、事前の各メディアは、全種目で、さも全員が「金メダル」が取れるかのような報道ぶりだったが、いざ始まってみると矢張りそう簡単に「金」は取れるものではないと改めて知らしめてくれる。それだけに有言実行の内村選手の偉業が光るのだ。試合会場で、どんなふうにもその重圧を跳ね除け、自らの集中力を高め、平常心で試合に臨んだのか、各人も秘訣は持っているよう。4年後の「東京オリンピック」では是非とも会場での目で見たいものだ。まずはありがとうというリオ・オリンピック。(品川区/A・N)

●おいしい鰻をありがとう

埼玉での仕事帰りに上司に昼食を誘っていただいた。たまたま見つけた店の鰻がおいしかったとのこと。そのお店は川魚料理屋で名物はなんとナマズの天ぷら。初めていたが、白身に脂が乗っていてぷりぷりしており、天ぷらのサクツとした食感と相成り箸が進んだ。天ぷらを平らげた頃に丁度良く鰻重が登場。注文が来てからさばくため、とにかく鮮度がいい。身も柔らかい。甘すぎず、皮も膨らんでいる。甘すぎないタレの香ばしさが食欲を誘い、山椒をたっぷりかけていただいた。肝吸いも臭みがなくおいしい。埼玉が鰻の名所とは勉強不足でした。とてもおいしかったです。ご馳走様でした。(文京区/H・K)



【携帯Deショット】

2週間以上前から咲き続ける秋の七草『オミナエシ(女郎花)』。別名であわばな(粟花)と言われ、小さなツブツブの蕾が粟の实のように見えるから。【花言葉】親切、美しさ、美人、佳人、心づくし、はかない、恋など



●携帯電話の方はQRコードから →→→
●パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
●メールでのご投稿は…
info@arigatou-mail.com
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部
●株ありがとう・不動産HP <http://www.arigatou-1039.com/>



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せいただいた「ありがとう」のこぼれに因んだ思い出、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部まで送ってください。投稿いただく方には、ささやかではございますが、オリジナル「ありがとうマガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。



編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。

